

自教労働者

東京自動車教習所労働組合機関紙

発 行 者

東京自動車教習所労働組合

〒110-0003東京都台東区根岸4-11-10

TEL03-3871-6470 Fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyo.or.jp

URL <http://www.toujikyo.or.jp>

第23回中央委員会

社会水準並の賃金・消費税引き上げ 人材確保の観点からも大幅賃上げを！



春闘方針・統一要求を満場一致で確認

3月8日、としま産業振興プラザに、本部執行委員と中央委員の総勢53名が集まり第23回中央委員会を開催しました。主催者挨拶として津田委員長は、職場政策として公休出勤・窓口業務の延長・有給休暇の自粛等様々な繁忙期対策を行い大変な苦労があると思っています。しかし、私が毎年申し上げている通り職場政策を何でもやって良いというわけではありません。体を壊してはなりませんし、各支部が持っているカードをすべて出し

切るわけにはいきません。

昨年の入所者数の動向をみると東急（－669人）、武蔵境（－531人）、石神井（－481人）など大手教習所を含めて12校所が入所減、逆に小金井と町田は大幅に入所増となるなど職場によって明暗を分けた結果になりました。東京の閉鎖は昨年日立が、今年も1校閉鎖の情報が入ってきました。

このように自教業界は厳しい情

定年六五歳・継続雇用者の賃金改善の実現！



開会挨拶をする 古瀬常任執行委員

勢におかれています。一方、組合員の賃金はまだまだ社会水準においついておらず、長時間労働も恒常化しています。定年延長も重要課題です。19春闘では仲間と団結し私たちの要求を前進させていこうと訴えました。

春闘方針提起では、熊谷書記長が大幅賃上げを求める声と同時に、各支部から65歳までの定年延長や継続雇用者の賃金・労働条件改善要求が多く上がっているのが実態。重い要求ではありますが、必ず実現させていきたいと思います。



会場発言をする 大澤中央委員

質疑応答で大澤中央委員は、春闘方針を賛成の立場で、昨年、和解が成立した市川中央支部が東自教労組の仲間の支援のおかげで平穏な職場になったとの報告がありました。また、19春闘では争議が長期化したことから、様々な課題が残っていることから残務整理のつもりで要求を前進させていく必要があるが、いずれにしても皆さんと連帯して奮闘していく決意を表明しました。

第23回中央委員会では、承認され納得のいかない回答には断固闘っていくなど提案された審議事項は満場一致で承認され成功裡に終了しました。

19春闘日程

- 3月14日(木) 要求提出
- 20日(水) 第1回交渉
- 28日(木) 第2回交渉
- 4月3日(水) 第1回闘争・第9回合同会議
- 4日(木) 第3回交渉
- 11日(木) 第4回交渉
- 12日(金) 第一波統一行動
- 17日(水) 第2回闘争・第10回合同会議

第3回共同センター幹事会 高齢者講習 ゴールド免許に メリット制の導入を！



3月6日、共同センターは、上野区民会館に東京・埼玉・京都・大阪から10名の幹事が集まり幹事会を開催しました。

幹事会では各地方の19春闘取り組み状況の他、6月に予定している中央行動の申し入れ先や要請内容を議論しました。

警察庁には高齢者講習でゴールド免許保有者の不満が高まっていることや講習の予約待ちが多いことから講習免除などメリット制の導入を要請する旨の意見が出されました。

流山支部へ春闘激励・新校舎視察



新校舎の前で流山支部の仲間と

3月15日、本部から津田委員長と熊谷書記長は、流山支部に新社屋の視察を兼ねた19春闘激励行動を実施しました。流山は2017年12月に隣の土地に建てた新校舎に移転しコースも新しくなりました。激励行動の前には校長に表敬訪問を行い、丁寧に新校舎の案内を受けました。その後、昼休みに職場集会を行い、津田委員長と熊谷書記長は「流山は人口増加や組合員の努力もあり入所者数が増加している。組合員の団結も強いことからますます反映すると確信している。今後も優良な労働を提供しながら、必ず賃金・労働条件改善を果たそうと激励を行いました」

二〇一九年春季統一要求書

東自教労組は、三月八日に「社会水準並みの賃金・労働条件を勝ち取る、一九春闘！」をメインスローガンとした第二回中央委員会を開催し、満場一致で春闘方針と統一要求を確認しました。組合員の生活は、社会水準からかけ離れた低い賃金実態のもと税金や社会保険料率の引き上げによって、「非消費支出比率」が高まり大変厳しい実態になっています。そのような実態のもとで、今年一〇月には消費税率の引き上げが予定されており、さらに生活が厳しくなることが危惧されており、今年の賃上げは例年にも増して重要となっています。

また、政府は年金支給開始までの「空白の五年間」を埋め、人手不足を和らげるために国家公務員の定年を六五歳まで引き上げる法案を今年の通常国会に提出する考えを明らかにしています。さらに、政府は労働力確保を目的に継続雇用の義務付けを七〇歳まで引き上げる方向で検討を始めるなど社会情勢は変化しています。当然、定年の引き上げや現行の継続雇用制度の改善を求める組合員の声は高くなっているのが現状です。

貴社におかれましては、統一要求の趣旨を理解され、組合員の切実な要求である左記統一要求の円満解決を図られるよう要求致します。

記

- 一、全ての自教労働者に一〇〇〇〇円以上の賃上げを行うこと。
- 二、生涯賃金制度について労使協議を行い導入すること。
- 三、定年を年金満額支給開始年齢まで引き上げること。
- 四、定年後の継続雇用者の賃金・労働条件を改善させること。
- 五、初任給を引き上げること。
- 六、年間一時金として平均一五〇万円以上を支給すること。配分は夏期分四五％、冬期分五五％とし、夏期分は七月五日、冬期分は十二月六日までに支給すること。
- 七、その他、別紙による各支部ごとの要求を解決すること。
- 八、右要求について三月 日に団体交渉を行い回答すること。

以上

二〇一九年三月 日

東京自動車教習所労働組合

執行委員長 津田 正善

同

殿

19春闘**3月14日現在**

人材確保に向け 積極的な賃上げに踏み切る企業が続出！

自動車や電機業界が昨年より力強さにかける春闘となる様相を呈していますが、人手不足が深刻化している物流や外食産業では、人材確保に向け積極的な賃上げを行う企業が出ています。

物流大手の福山通運は、9日に約13,000人のトラック運転者に対して前年の3倍となる月額7,500円の大幅なベアを実施することで妥結しました。3月分の給与で全社員（約2万人）に一律50,000円を支給するなど人員確保に向けた待遇改善を進めています。さらに、ヤマト運輸はベアと定期昇給を含めて8,052円の賃金引き上げで妥結したと発表しました。

外食産業も同じで、「餃子の王将」は月額12,677円で妥結。「すき家」のゼンショウホールディングスは初任給を21万円から5,000円アップで妥結しています。

日本商工会議所の調査では、全国の中小企業で人手不足を訴えたのは18年で65%に達しました。人手不足によって経営に直結する事態も起こっており、余裕はないが賃金を絞り出さなければならないと回答する業者もいます。

自教業界も人手不足は深刻化しており、人材確保のための賃上げや労働条件改善は必須と考えられます。

●福山通運 月額 7,500円（ベア）

●ヤマト運輸 月額 8,052円（定昇+ベア）

※トラック運転手は長時間労働・低賃金が敬遠され、1月の有効求人倍率は3.03倍。

●王将フード 月額12,677円

●ゼンショウホールディングス

初任給5,000円アップ



主要企業の2019年春闘回答		
	ベア	(前年実績)
電機	日立製作所	1000円 (1500円)
	パナソニック	1000円 (1500円)
	三菱電機	1000円 (1500円)
	富士通	1000円 (1500円)
	N E C	1000円 (1500円)
	東 芝	1000円 (1500円)
	シャープ	1000円 (1500円)
自動車	トヨタ自動車	非公表 [賃上げは前年割れ] (1300円超だが金額は非公表)
	日産自動車	3000円 (3000円)
	ホ ン ダ	1400円 (1700円)

※回答はベースアップ額（定期昇給額は別途）